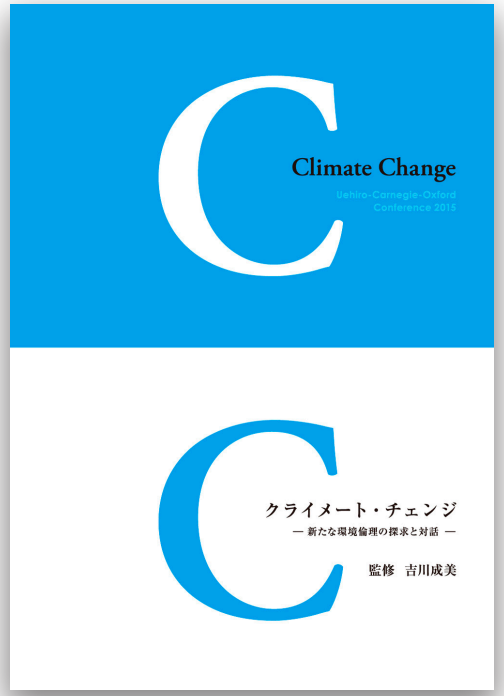
クライメート・チェンジ

新たな環境倫理の探求と対話

吉川成美 監修・著
エヴァン・ベリー／ガイ・カヘーン／ピーター・ヒギンズ／高野孝子
デール・ジェーミソン／豊田光世／イングマー・ペルソン
グスタフ・アリニアス／ジュリアン・サヴァレスキュ／桑子敏雄



新たな視座で気候変動の倫理と実践を考える

人間はなぜ気候変動への対応策についてグローバルな合意に至れないのか。その人間性への深い洞察と、前進へのヒントとなる実践例の報告。

- ✓ 気候変動という問題に対する個人的責任と集団的責任
- ✓ 地域性に根ざした倫理的課題解決
- ✓ 気候変動は単独の方法で解決できるひとつの問題ではない
- ✓ 気候変動への適応策によってもたらされる未来の不確実性
- ✓「場」への関心と、「場」に根ざした教育
- ✓ 気候変動への対応を難しくしている人間の心理的特性
- ✓ 人口倫理学が抱えている課題
- ✓ 有機農業運動が生みだす倫理的な互助関係
- ✓ 評判を気にする心理を肯定的に利用できる可能性

「パリ協定」に先だつ 2015 年にニューヨークで開催された国際倫理会議を再構成。

本体 2000 円＋税　　清水弘文堂書房
ISBN978-4-87950-630-6　C1012
2018 年 10 月発行

- ▶ 気候変動は単一の問題？（エヴァン・ベリー）
- ▶ 気候変動と人間の道徳的心理（ガイ・カヘーン）
- ▶ 地球への愛着—「自分の居場所」への愛着をどう育んでいけるか（ピーター・ヒギンズ）
- ▶ サステナビリティに関する教育の倫理的側面（高野孝子）
- ▶ 気候変動の責任—因果的、道徳的、法的責任と「介入責任」（デール・ジェーミソン）
- ▶ 気候変動の時代に考える責任の所在（豊田光世）
- ▶ 気候変動—最も難しい道徳的挑戦？（イングマー・ペルソン）
- ▶ 温暖化の時代の人口倫理学（グスタフ・アリニアス）
- ▶「生態倫理（エコロジカル・エシックス）」による経済コミュニティの創出（吉川成美）
- ▶ 倫理学の心理面から恥の倫理学を考える（ジュリアン・サヴァレスキュ）
- ▶ 惑星哲学・惑星倫理の構築（桑子敏雄）

清水弘文堂書房　TEL:03-3770-1922　FAX : 03-6680-8464　E-mail : order @ shimizukobundo.com

貴店（帖合）印

ご担当

2000

注文数

書名	発行所
クライメート・チェンジ 新たな環境倫理の探求と対話	清水弘文堂書房
	監修
	吉川 成美

ISBN978-4-87950-630-6　C1012　¥2000E

定価：本体 2000 円＋税